

2面からの続き

生きる力の育成方策は

自然・社会体験学習を推進

議員(自県ク) 県民とテーマを共有し、協働して茨城の未来を創り上げていくための県政運営に対する知事の基本姿勢と、長期総合計画に掲げた数値目標の実現可能性について伺う。

知事 県政情報の発信を積極的に行い、事業計画を策定するにあたり、インターネット等を通して県民の意見を意思決定に反映させるよう努める。地域づくりに取り組む上での目標水準を設定した九七項目は、平成一三年度末で約四割の項目が達成率三〇%以上と比較的順調に進んでいる。

議員 知事は、壮大な国際物流特区構想を提案したが、この区域に計画してきた既存プロジェクトを、今後どのように結びつけ推進し、この地域をどのように活性化していくのか伺う。

知事 ひたちなか地区や茨城中央工業団地は、港湾との連携のメリットを生かすとともに、分譲方法や立地規制を緩和し、物流企业等の立地を図る。総合流通センターは、規制緩和による流通加工、販売機能、保税機能を併設した施設などが立地できるよう見直す。ひたちなか地区から県央地域は、バイオやゲノムなど新産業の創出に努める。

議員 公的教育の役割の一つは、自分で問題を発見しそれにどう対応していくかを考える力、創造力などを総合した生きる力をバランス良く育成することである。生きる力をどのように考え推進するのか伺う。

教育長 生きる力は、学校や家庭、地域社会が一体となって育む必要がある。この育成には、体験を通して学ぶことが大切であり、

県では、ふるさと発見事業や中学生社会体験事業を実施している。平成一五年度は、茨城いきいき自然体験促進事業、体験活動推進事業等を実施していく。

ほかに、財政再建の推進、霞ヶ浦の水質浄化、産学官連携による新産業の創出、本県農産物の信頼性確保と販売の促進なども質問)



親子での自然観察会(県植物園)

総合的な雇用対策構築は

三千人雇用と産業活性化

議員(民清ク) 県出資団体の経営健全化に早急に取り組まなければならぬが、団体が危機意識を持つには、いわゆる天下りへの対応が課題となる。財務上の負担だけでなく、団体のプロパー職員の危機意識や健全化に取り組む意欲の妨げになることも懸念される。県退職者の再就職や職員の派遣にあたって、団体の経営健全化への配慮は、知事 出資団体等の自立的で責任ある経営体制の確立には、団体職員の養成が重要。第三次行財政改革大綱で、県退職者及び現役職員派遣者を一〇%削減するという目標を掲げた。今後は、団体職員の経営感覚を養う研修を充実させ、責任を持つて事業運営にあたれるよう指導、支援を行う。

議員 日立港沖で座礁した北朝鮮籍貨物船からの流出重油によって周辺海域が汚染されたが、県はあらゆる事態を想定して対応策を検討し、広範囲の危機に対応できる一元的な体制を構築しておく必要がある。危機管理についての考え方は、

知事 今回の経験を生かし、県民の生命、財産の安全がすべてに優先するという基本理念に立ち、万全の体制を整える。

議員 短期的視点と中長期的視点を組み合わせた総合的な雇用対策の構築は、知事 緊急雇用創出基金を活用して三、〇〇〇人の雇用を生み出すとともに、就職サポートセンターの設置や雇用相談コーナーの拡充、求人ニーズに対応した一、〇〇〇人規模の離職者訓練を行う。中長期的には、税の減免による企業立地促進や、構造改革特区による新産業の創出などによる産業を活性化し、雇用の創出を図る。

ほかに、財政運営、市町村合併、地上デジタル放送、中小企業対策、県北振興策、第二次総合がん対策推進計画、県土の保全、少人数級級の拡充、目に見える警察活動なども質問)



2面からの続き

(仮称)つくば養護学校整備は

関係者の意見反映

議員(共産) (仮称)つくば養護学校が建設されるが、当事者の提案を生かすため、基本設計検討会議に、父母の代表や現場の教師などを参加させて欲しい。

教育長 障害のある児童生徒の特性をよく理解している学校関係者などの意見や、他県の知肢併設型養護学校の整備事例などを参考にしながら、校舍建設を進めていきたい。

議員 残士の適正処理と不法投棄について、県独自の残士条例をつくり、不法投棄などに毅然と対応すべきと考えるが、

生活環境部長 現在、市町村の残士条例で対応している。今後、市町村の実情に応じて、残士条例の適用範囲や許可基準を改正することが可能と考える。

ほかに、知事の政治姿勢、国保事業なども質問)



県北西部地域の活性化は

定住対策と交流拡大

議員(自民) 県北西部地域は高齢化と若年層流出が深刻で活力低下が懸念される。地域の特色を生かした振興策を図るべきでは。

知事 住宅整備やバス運行等の生活利便性を向上させる定住対策と、交流体験の仕組みづくり等の交流拡大の施策を、バランスよく組み合わせ活性化を図りたい。

議員 県北西部地域には総合病院がなく住民が生命や健康に不安を抱えている。総合病院の早期開設が必要であるが、現状と県の対応を伺いたい。

保健福祉部長 病院整備に済生会が前向きに取り組める状況になってきている。地元市町村と連携しながら、関係団体等への働きかけを行い早期実現に努めたい。

ほかに、国道一一八号那珂大宮バイパスの整備、基礎学力の定着なども質問)

(一般質問は四面へ続く)



県議会を
傍聴しま
せんか

本会議は、特別の場合を除き、誰でも傍聴できます。(傍聴席は三〇〇席で先着順です) 本会議等の日程・開会時間や常任委員会、特別

委員会の傍聴については、事前に議会事務局課へお尋ね下さい。お問い合わせ先は、電話〇二九(三〇一)五六三四